

# 令和5年度 稲作情報 No. 1 十日町版

令和5年2月27日発行  
十日町地域農業振興協議会  
JA 十日町、JA 津南町、十日町市、津南町  
中魚沼 NOSAI センター、十日町農業普及指導センター

## 気象変動や生育状況に対応した柔軟な栽培管理の実践

水稲栽培に役立つ情報を LINE で簡単に受け取れます！

- 本年の生育・気象状況に応じた栽培管理
- 緊急情報(フェーン・異常高温等)
- 基本栽培技術
- 研修会の案内 等



QRコード読み取り  
→簡単に友だち登録

ID 検索: @219dutchb

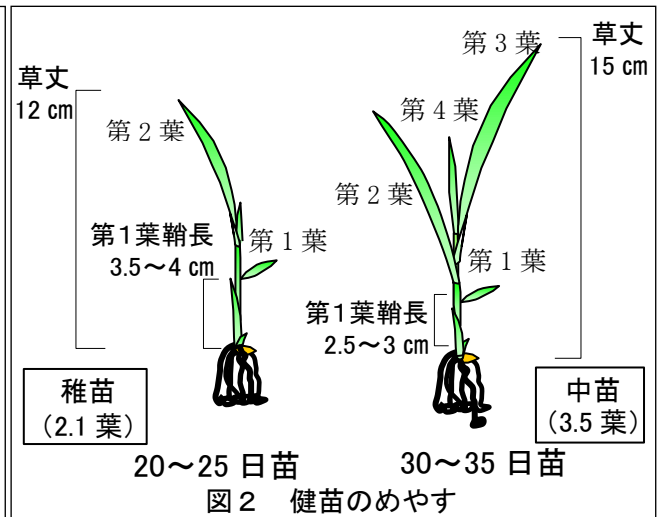
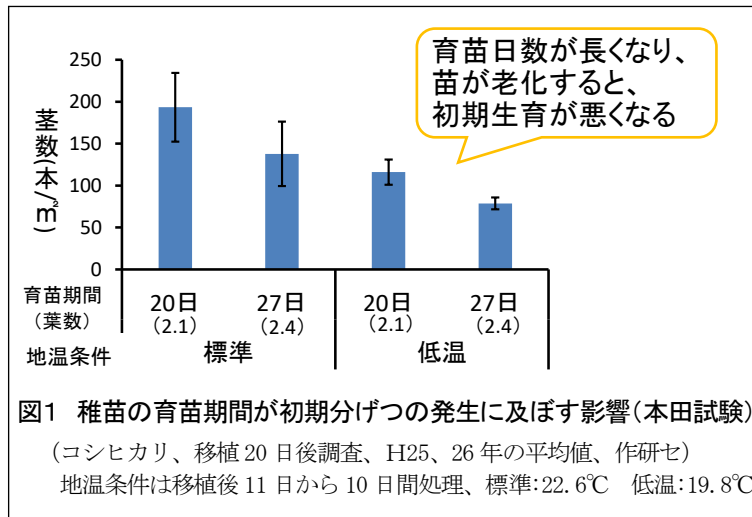
十日町農業普及指導センター(水稲情報)

### 1 育苗計画

- 高温登熟による品質低下を極力防止するため、コシヒカリは8月5～15日頃に出穂するよう移植日を設定しましょう。
- 健苗を移植するため、移植期から逆算し適期に播種をしましょう。

表1 適正な育苗スケジュールのイメージ ○: 播種日、△: 移植日、□: 出穂期

育苗様式	4月		5月			8月
	中旬	下旬	月上旬	中旬	下旬	
<b>稚苗</b> 加温出芽のハウス又は露地	浸種 (4/17)	出芽 (4/27)	緑化	硬化 (5/20)		出穂 (8/5)
<b>中苗</b> 加温出芽の露地	浸種 (4/15)	出芽 (4/25)	1葉期	2葉期	3葉期以降 (5/25)	出穂 (8/10)



### 2 種子予措~は種

- 種子予措を徹底し、育苗期の体系防除と併せて種子伝染性病害の発生を防止しましょう。

#### 塩水選

充実した発芽力の高い種子を選別

粳区分	比重	水 10ℓ 当たり に 溶 か す 量	
		食塩を使う場合	硫酸を使う場合
うるち粳	1.13	1.9 kg	2.5 kg
もち粳	1.08	1.1 kg	1.4 kg

- ・ 塩水をよく洗い流す
- ・ 温湯消毒を行う場合は十分乾燥させる。

## 種子消毒

○温湯消毒の場合、微生物農薬（タフブロック・催芽時浸漬）との**体系処理**を実施しましょう（図3）。

## 浸種

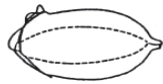
### 浸種初日は水温 10℃を下回らないよう注意！

- 水量は種子容量の2倍以上を用意しましょう。
- 水温は10～15℃を確保し、積算温度 100℃を終了のためやすとしましょう。
- 水更新は種子消毒の方法で変えます。
  - ・温湯消毒：2日に1回程度
  - ・浸種期間に薬剤消毒：前半4日間は水を更新せず、その後必ず2～3回水を更新

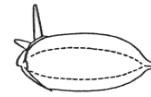
## 催芽

### 催芽温度は30℃で80%以上ハトムネ状態に

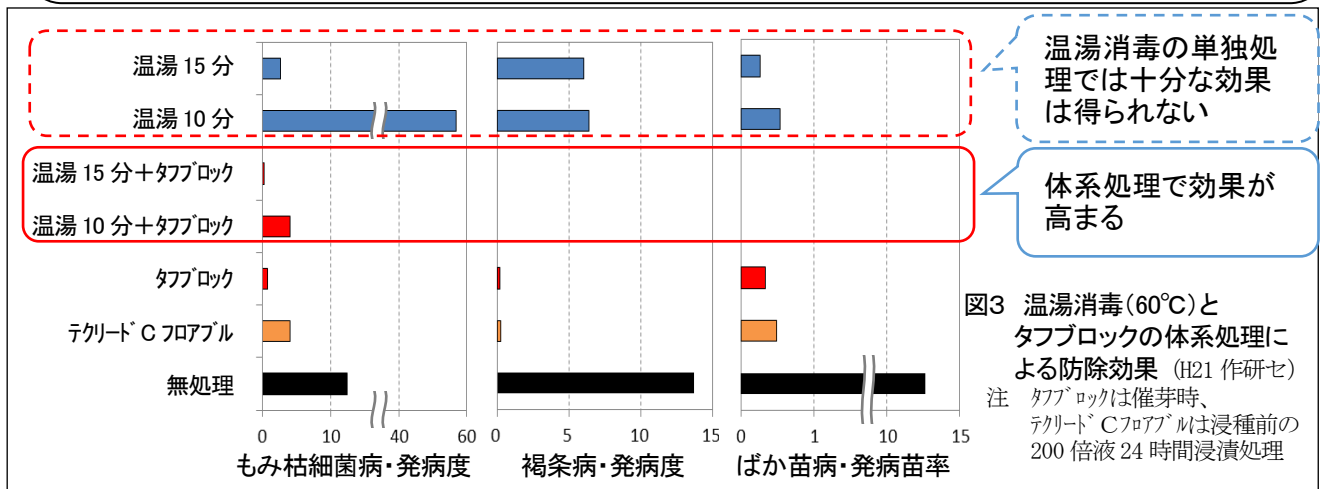
- 30℃を超えると細菌性病害、30℃を下回るとばか苗病の発病を助長します。
- 籾袋の外側だけでなく、中心部も確認しましょう。



適正な  
ハトムネ状態



伸ばしすぎ！



## は種

### 薄播きで健苗を育成

育苗様式	1箱当たり播種量 (g)		10a 当たり必要箱数 (50株/坪)
	乾籾	(催芽籾)	
稚苗	130～140	(160～175)	18～20
中苗	80～100	(100～125)	20～25

カスミン粒剤・液剤との体系防除で細菌病の発生防止

【参考】育苗期に発生しやすい障害・病害

障害	原因	対応と今後の対策
ばか苗病	①種子伝染 ②病原菌に汚染された種子予措器材の使用や罹病植物残渣(籾殻、米ぬか等)を含む粉じんの付着	①化学農薬による種子消毒または温湯消毒+生物農薬の体系種子消毒。 ②消毒済みの種子は、稲わら、籾殻等に触れないようにする。
出芽不良	①浸種時の低温や積算温度不足 ②催芽時の温度ムラ ③出芽時の過高温や過湿	①出芽器内の温度をこまめに確認 ②80%以上の籾をハトムネ状態にする ③床土の透水性を改善
ムレ苗	①床土の pH が高い(アルカリ性)※適正值 pH4.4～5.5 ②床土の透水性が悪い ③厚まき ④1.5～2.0 葉期頃の急激な温度変化(8℃以下の低温とその後の高温)	①症状が悪化する前に早めの移植 ②床土の pH や透水性に留意する ③厚まきや徒長を防止する ④温度の激変を避け、夜間の温度を8℃以下に下げない

### 3 育苗期間の管理

#### (1) 稚苗・加温出芽・ハウス育苗の場合

期間	温度	温度管理・被覆	水管理	終了めやす
出芽期 2～3日間	30℃	○緑化に移す際、温度の急変を避ける ➔白化苗防止	○播種時に十分灌水	出芽長 0.5～1.0cm
緑化期 2～4日間	昼 20～25℃ 夜 15～18℃	○10℃以下にしない ➔苗の伸長停止防止 ○被覆資材で被覆 ○好天日、高温時では換気を十分に実施 ○出芽や緑化期間を長くしない ➔徒長苗防止	○午前中早めに1日1回灌水  ※ 強風時は乾燥しやすく 苗ヤケの恐れがある	第1葉 完全展開  第1葉鞘長 3.5～4.0cm
硬化期 13日間 程度	昼 15～20℃ 夜 10℃以上	○8℃以下、20℃以上にしない ➔ムレ苗、苗ヤケ防止 ○基本は被覆資材を除覆 ※降霜が予想される場合は被覆  ○硬化期前半は日中にハウス開放 ○硬化期後半は日中、夜間にハウス開放	○硬化期前半は1日1回灌水  ○硬化期後半は1日2回、 午後2時までに 乾燥程度を見ながら灌水	草丈 12cm 2.1 葉

＜稚苗の追肥(べんとう肥)＞ 移植4～5日前に窒素 1.0g/箱

#### (2) 中苗・加温出芽育苗の場合

期間	温度	温度管理・被覆・水管理	終了めやす
出芽期 1.5 日以内	30℃	○稚苗の出芽期と同様	出芽長 0.5cm 未満
1葉期 10 日間 程度	昼 20～25℃ 夜 15～25℃	○出芽期後～1葉期までは稚苗の緑化期と同様 ○1葉期以降は稚苗の硬化期と同様	第1葉鞘長 2.5～3.0cm
2～3葉期 20 日間 程度	昼 15～20℃ 夜 10～15℃	○稚苗の硬化期と同様  ○3葉期から徐々に外気に慣らす	草丈 15cm 3.5 葉

＜中苗の追肥(べんとう肥)＞

基肥窒素量に応じ、  
追肥回数と量を加減しましょう。

表 基肥窒素 0.5g/箱の場合のめやす

追肥時期		追肥量 (成分 g/箱)
1回目	1.5～2.0 葉期	窒素 1.0
2回目	移植4～5日前	窒素 1.0～2.0

#### (3) 加温出芽・プール育苗の場合

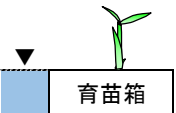

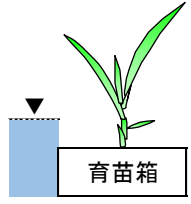
##### ア 育苗場所の準備

- 温度変化の少ない場所を選定し、強風が当たりやすい場合は防風ネット等で風対策を行きましょう。
- 置き床は均平にしましょう(許容高低差:2cm 以下)。

##### イ 出芽期～緑化期の管理 (温度・水管理は上記ハウス育苗と同様)

- 育苗箱を並べる際、低温や強風及び強光の日を避けましょう(急激な温度変化を避けるため)。
- 湛水は緑化期になるまで基本的に行いません。降雨後は排水しましょう。
- 降雨後、被覆資材に雨水が停滞した場合は直ちに排水しましょう(晴天時、レンズ効果で温度上昇を招くため)。

##### ウ 硬化期の水管理 (温度管理は上記ハウス育苗と同様)

<p>1.5 葉期</p>  <p>○プール内で一番低い位置の育苗箱の床土面まで湛水</p>	<p>1.5 葉期以降</p>  <p>○草丈の1/2程度まで湛水 ○浅い部分で箱の1/3以下になったら灌水 ○プールへのかん水は早朝に行い、日中に水温上昇を図る ○低温時は一時的に水位を上げ、その後通常の水位に戻す</p>	<p>追肥時</p>  <p>○床土面以上に湛水する ○施用後2日間は落水しない</p>	<p>移植 2日前</p> <p>落水し、 苗箱を軽くする</p>
---	---	---	---

## JA十日町からの情報

薬剤名	使用時期	使用量	適用病害虫
GPオリゼリディア箱粒剤	緑化期～移植当日	50g/箱	いもち病・イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ・ツマグロヨコバイ・ウンカ類
	移植3日前～移植当日		イナゴ類・ニカメイチュウ・フタオビコヤガ(イネアオムシ)
ルーチンアドスピノ箱粒剤	播種前床土混和		いもち病・イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ・ウンカ類・ツマグロヨコバイ・イネヒメハモグリバエ・イネツトムシ・フタオビコヤガ(イネアオムシ)・コブノメイガ・ニカメイチュウ
	播種時～移植当日		白葉枯病・もみ枯細菌病
Dr.オリゼフェルテラ粒剤	緑化期～移植当日		いもち病・イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ・ニカメイチュウ・フタオビコヤガ(イネアオムシ)・ツマグロヨコバイ・イネツトムシ
ルーチンブライト箱粒剤	播種時～移植当日	いもち病・白葉枯病・内穎褐変病・もみ枯細菌病・紋枯病・イナゴ類・イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ・イネヒメハモグリバエ・コブノメイガ・ニカメイチュウ・フタオビコヤガ(イネアオムシ)・ツマグロヨコバイ・イネツトムシ	
	移植当日	穂枯れ・疑似紋枯症・イネヒメハモグリバエ・ヒメトビウンカ	

### ●水稲育苗シート

#### ○ハイホワイトシルバー

- 特徴
- ・ホワイト(表面)の高い反射効果で、高温障害、苗ヤケを防止
  - ・シルバー(裏面)の保温・断熱効果で適度な温度を維持
  - ・芽出しから緑化まで使用可能
  - ・可視光線透過率 100%

#### 規格

厚(mm)	幅(cm)	巻(m)
0.05	230	25・50・100
	270	
	300	50

#### ○トーカンほなみ

- 特徴
- ・高温時に苗ヤケしにくい
  - ・資材が熱くならないので不織布は不要
  - ・適度な透過性があるため緑化まで使用可能
  - ・水分保持、耐久性がある

#### 規格

厚(mm)	幅(cm)	巻(m)
0.1	230	50
	270	
	300	